【　先天性心疾患　】

当院小児科では年間約100例のカテーテル検査入院があり、多くは先天性心疾患の診断、治療、手術症例の術前、術後評価をおこなっています。そのため、我々は心臓カテーテル検査を安全かつ円滑に行うためクリニカルパスを使用しています。通常、入院期間は4日間で様々な心疾患に対し心臓カテーテル検査前から退院までの予定、注意点や問題点を予測しあらかじめ計画を立てておくことで合併症の早期発見、また安全かつ円滑に入院生活が送れるように努めています。先天性心疾患で入院され検査を受ける患者さんは、このような入院生活を送ります。

小児循環器科

心臓カテーテル検査 を受ける患者さんへ

患者さん用

お名前:　　主治医:　　担当看護師:

月日 / 項目	外来	／	／		／	／
		入院当日	入院2日目		入院3日目	退院
		検査前日	検査当日（検査前）	検査当日（検査後）	検査翌日	検査後2日目
達成目標		不安なく検査に臨める	不安なく検査に臨める ⟶			
治療・薬剤（点滴・内服）・処置・リハビリ	・内服薬の中止を確認します (　　/　　から)	・面会終了後に点滴が始まります 	・医師の指示があるお薬を【　時】に少量の白湯で飲んでいただくことがあります ・検査の30分前に注射があります 	・検査部位を動かさないように注意します ・安静のため、身体を動かさないように体幹と足を抑制させていただきます ・酸素テント収容または酸素吸入をします ・心電図・SATモニターを装着します ・検温を定期的に行います ・点滴から抗生物質を投与します ・食事開始後、お薬が開始となります	・酸素テント、酸素吸入が中止になります ・心電図、SATモニターが中止となります ・点滴を抜針します ・抗生剤は内服に変更します ・医師が検査部位の消毒を行います	
検査	・身長、体重測定 ・採血、採尿 ・胸部レントゲン ・心電図、心エコー					・身長、体重測定
活動・安静度		医師からの制限がなければ自由に遊べます	制限はありません	・そけい部の砂嚢(さのう)は6時間後に外します ・そけい部からの検査の際は24時間の安静が必要です	検査部位の出血の有無を確認後、消毒をし安静解除となります	
食事	制限はありません	・夕食まで普通に食事を摂ることができます ・水分は【　　時】まで飲めます ・ミルクは【　　時】まで飲めます ・食事、ミルクの量を記録します	検査終了後、お腹が動き出すまでは、水分・食事の摂取はできません	・麻酔から覚めてお腹の動きが良くなったら飲水できます ・飲水開始後、嘔吐がなければ食事できます	制限はありません	制限はありません
清潔		沐浴もしくはシャワーを浴びることができます		沐浴・シャワー浴はできません	シャワー浴ができます （入浴、沐浴はできません）	
排泄		歩いてトイレに行けます	注射前に排尿を済ませてください	・安静解除まではベッド上での排泄になります ・安静解除後は普通に排泄できます ・オムツを着用している場合は、翌日の消毒が終わるまでは排尿パックを貼らせていただきます	歩いてトイレに行けます	
患者さん及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	・医師から検査の目的・方法についての説明があります 	・検査に関して、担当医・看護師から説明があります ・検査当日の注射の際、保護者の同席が必要になりますので【　時　　分】までに来棟してください	・注射後は。薬の作用でふらつきや眠気が生じるので、ベッドやストレッチャーからの転落に注意してください	・医師から説明があります ・顔色が悪いときには看護師に伝えてください ・麻酔が完全に覚めるまでは泣いたり暴れたりすることがありますので、話しかけたり、抱っこをして安心をさせてあげてください ・点滴が抜けたりする可能性がありますので注意してください		・退院後の生活について説明をします ・内服薬の説明とお渡しをします **☆☆消毒方法☆☆** ・テープが汚れたり取れてしまった場合は市販の消毒で消毒し、絆創膏を貼ってください ・傷口から出血したり、赤く腫れてきた時は、外来を受診してください

ご質問やご不明な点がありましたら、医師または看護師にお伝えください。
予定は、お身体の状態や検査の状況で変更となる場合がございます。ご了承ください。

東邦大学医療センター　大森病院

作成日：平成28年2月3日